

所 属	基盤整備部 農山村政策課		
担当(係)名	集排・IT担当	内 線	3167

(款) 6 農林水産業費	(項) 4 農地費	(目)(4) 農村総合整備事業費
(明細書事業名) 公共事業 農業集落排水事業		

1 当初予算(要求)額(千円)

4,188,595

2 当初予算(決定)額(千円) 【財源内訳】

3,841,047	国 庫	県 債	一般財源	その他
(前年度4,033,766)	2,481,978	116,000	1,041,330	201,739

3 事業概要

農業集落における、し尿・生活雑排水の汚水、おでいなどの処理施設を整備する事業を実施したり助成を行います。

4 施策の効果

生活様式の変化に伴い生活雑排水が増加し、それに伴い農業生産環境や生活環境の悪化が目立ちはじめ、農山村部での汚水処理施設が必要となってきました。生活雑排水を浄化することは、農業生産環境や農山村部の生活環境の改善だけではなく、下流部の水質保全にも役立っています。

農業集落排水処理施設では、汚水を処理した後にできる「**おでい**」を良質な有機質肥料や土壌改良材として再生し、処理した水についても再利用していきます。これを**ドロコロジ**と呼んでいます。

5 要求の内容

- (1) 団体営農業集落排水事業費 2,215,399千円  
市町村が事業主体となり農村の下水道整備を行う事業に助成します。
- (2) 県営農業集落排水事業費 637,656千円  
県が事業主体となり農村の下水道整備を行います。
- (3) 特定基盤整備推進交付金 1,335,540千円  
団体営農業集落排水事業にかかる下水道事業債の元利償還金に対し助成します。

6 用語の解説

「おでい」: 微生物の死骸が沈殿したものです。  
ここでは、汚水処理により発生するおでいのことです。  
「ドロコロジ」: 「ドロ」+ 「エコロジー」という造語です。  
農村下水道おでいを有効に利用しようという考えです。

7 決定内容

- (1) 団体営農業集落排水事業費 2,215,399千円
- (2) 県営農業集落排水事業費 637,656千円
- (3) 特定基盤整備推進交付金 987,992千円

特定基盤整備推進交付金については、市町村の借入利率の見直しを行い、翌年度への繰越額を除いて措置した。